

V. 特記事項

1. 安田女子短期大学の伝統行事「オリエンテーションセミナー」

新入生歓迎オリエンテーションセミナー（通称：オリゼミ）は、毎年5月、新入生全員を対象に2泊3日の日程で学外の施設で行われるセミナーで、昭和52（1977）年度から継続して実施している行事である。オリゼミの企画、運営は学生によって自主的に行われ、新入生が団体生活を通じて新しい環境に適応し、自ら学生生活の方向づけを行うことを上級生や教職員が支援する。

上級生は希望者40人程度が参加し、オリゼミ全体の運営を担う実行委員、または「分団」のリーダーのいずれかを担当する。また、分団は、3～4人のリーダー（2年生）、新入生10人程度、教職員1～2人で構成される。

上級生は、新入生入学前の約半年をかけて準備を行った上で、3月に1泊2日でリーダーシップトレーニングセミナーと称して現地でリハーサルや安全確認等、プログラムの最終調整を行う。4月には分団ごとに昼食会等が開催され、人間関係の構築や学生生活のスムーズなスタートが実現される。5月に実施するオリゼミでは、リーダーを中心に分団ごとの語り合いやレクリエーション活動を行う。3日間で、新入生同士や先輩後輩間の精神的な連帯感を深め、2年間の学生生活の基盤をつくることにより、生活面・学修面に大きな効果をもたらしている。また、学科教職員は原則として全員が参加し、学生との交流を図るとともに、そこで得たものを学生指導に生かしている。

保育科は先輩と後輩の関係が親密で、先輩達の姿勢から学修の姿勢を見習い、様々な行事や学生生活を通して保育者としての心構えを学んでいく。オリゼミでの人間的な交流も、学生が将来社会で活躍していくための人間的な側面を育成する大切な場と位置付けており、上級生・教職員を交えた少人数による分団単位の団体生活を通して、新入生にとっては同級生同士の仲間作り、上級生・教職員への親近感の醸成、成長モデルの獲得（学生生活の見通し・保育者を目指す上級生の姿）、上級生にとっては思いやり、達成感による自信獲得等を達成することを目指している。いくつかの研修を通じて構築された人間関係は、卒業後も続く。リーダー達は後輩のピア・カウンセラー（自立支援）の役割を果たすとともに、1・2年生が交流する際の仲介役となるため、学科行事やクラス合同行事を円滑に運営することができる。

オリゼミ実施後は、1年生にアンケート調査を行うとともに、成果は「報告書」にまとめ、次年度のオリゼミの参考としている。

なお、オリゼミは、平成15（2003）年度文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」に採択された。この採択の理由として、①この活動が長期に渡る学生による主体的な運営によって成り立っていること。②その伝統をセミナーの学生リーダーが代々受け継ぐことによって成されているということが挙げられた。また、本セミナーにおいては2年生が自己開示することで新入生の心をも開くという「語らいの時間」のコミュニケーショントークがもつグループ研修に学生同士ならではの学びがあるということが高く評価されている。